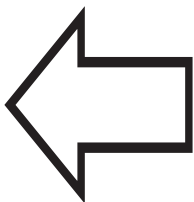


一般質問

月 日	質問者氏名	質 問 事 項
12月8日 (月)	松崎 辰義	1 教育行政について
	井本 政弘	1 防災対策について
		2 道路事情について
		3 伝統的建造物群保存地区の修景事業について
	森 茂生	1 コメ問題について
		2 公契約条例について
	牛島 孝之	1 平成26年9月23日、吉野町との姉妹都市締結時の市長の発言について
		2 小中学校の2学期制について検証されたか。今後の八女市の教育についての考えは
		3 八女市の古墳、文化財また各地域の著名人・古文書等の保護・保存について
		4 職員の給与問題について
12月9日 (火)	小川 栄一	1 やめっこ未来館の半年の成果は
		2 飲料水の安全について
		3 公立病院の市としての今後の構想は
	三角 真弓	1 合併5周年を迎えて
	萩尾 洋	1 人口減少対策について
		2 徘徊老人対策について(認知症高齢者対策)
朽網 英文	1 公共施設見直し公有財産利活用検討について	
	2 公立八女総合病院企業団の現状について	
12月10日 (水)	中島 信二	1 地域一体の教育行政について
		2 社会教育について
	橋爪 房義	1 今、及び将来の八女市が見える発展的市施策の推進について
	樋口安癸次	1 エレベータ設置
		2 公園整備
3 道路整備		
4 トンネル整備		
12月11日 (木)	服部 良一	1 八女東部スポーツ公園(サッカー場誘致)
		2 過疎対策の中から
		3 学校教育の中で市役所の役割
		4 南仙橋について
	石橋 義博	1 過疎化対策

《一般質問の詳しい内容》



定住化促進と子育て支援のために、 学校給食の無料化はどうか



松崎 辰義

答 具体的にどうするという事は、現時点では
言えない

はじめ問題について

問 いじめ問題で、いま心配なのは、ここ数年、先生方の不祥事が続き、子どもたちとの信頼関係がどうなっているのか。

答 2学期制の導入で子どもたちと向き合う時間を確保、特別支援員や少人数の指導員導入で負担軽減。またスクールカウンセラー等の配置、いじめ対応も組織的な対応をお願いしている。

問 学校給食の民間委託

答 八女市は子育て支援も学校教育の充実のためにも予算を確保している。教育委員会としては、市長部局との協議が必要である。

問 学校給食について

※その他、子ども行政の一元化について質した。



はごこまでされるのか。

答 現時点では、中学校を民営化している。

問 茨城県の大田原市では2億数千万かけて、学校給食の無料化をしている。

また、第2子、第3子からの無料化などを行っている自治体もある。八女市でも検討できないのか。



井本 政弘

交通事故多発交差点の 早急な対策を

答 警察と共に事故防止対策を行なっていく



八女立花橋北側交差点

の作成を望む。

答 県が指定した土砂災害警戒区域、特別警戒区域、浸水区域、避難所や医療福祉施設等詳細に明示したい。

伝建地区の修景基準

問 伝統的建造物保存地区の修景基準と特例措置について市長の考えは。

答 歴史的風致を損なわないよう定めているが、条例をもう一度検討してみたい。また、特例措置については、医療福祉施設等公共性の高い案件について、保存地区の事情なども考慮し、総合的に判断していきたいと考えている。

防災について

問 市民の防災に十分に活用できるハザードマップ

の把握と対策はどうか。

また、市内に危険な交差点があると思うが、現状

早急な対策が必要である。また、市内に危険な交差点があると思うが、現状の把握と対策はどうか。

「コメを作って、メシ喰えない」



森 茂 生



コメ問題について

問 米価の目安となる概算金が、1俵当たり1万円を割り込み大暴落。

国は対策を取ろうとしないが、新食糧法でも「不足すれば強制的に出荷を命令」。

「違反すれば3年以下の懲役又は300万円以下の罰金」。

大変矛盾した食糧政策では。市内でいくらぐらい減収になるのか。

答 約1億8千万円の減収になる。

問 公契約条例について

問 2年連続で設計労務単価が平均で23%、1万6千円に引き上げられた。

答 適正な賃金の支払いを請負業者に指導するべきでは。

問 車持ち10ト車ダンプ運転手が1日労働してもらえる単価は。

答 1日8時間稼働で、4万8000円が直接工事費として積算に反映。

しかし、末端の労働者まで行き渡っていないので現状を調べたのか。

答 実際の調査には至っていない。

問 実際支払われているのは「3万6千円〜3万8千円」程度で1万円程度低い。業者に指導するべきでは。

答 適正な賃金の支払いを請負業者に指導するべきでは。

問 旧矢部村時代の昭和36年4月より遊覧船事業を開始し、業務不振により昭和39年9月には中止されている。

答 上、経済的な効果も出てくると思ってる。

問 今後の八女市の教育について

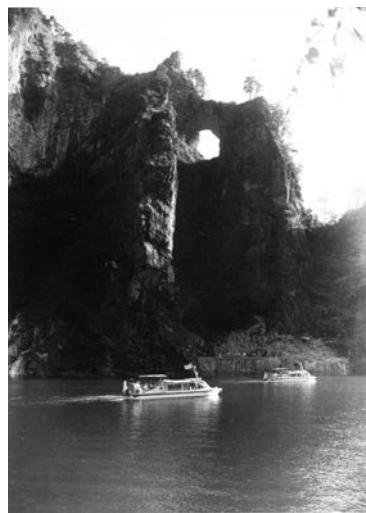
問 小中学校の2学期制についての検証はされたのか。

答 本年度においても推進委員会を開催し、検証のあり方や問題解決に向けて

今も時代も随分変わってきており、必ず成功させ、この地域の所得の向



牛 島 孝 之



日向神ダムと蹴洞岩の下をとる観光船（昭和30年代旧矢部村）

答

平成27年度の当初予算計上に向けて調整中である

日向神ダムに遊覧船を浮かべるといふ発言について、その真意は

けた調査研究を重ねていく所存であり、3学期制に戻す考えはない。

職員の給与問題について

問 管理職と一般職員の給与に逆転現象が起きているのでは。また、その原因について

答 逆転現象という事例は今現在15の例がある。

原因は高齢職員の給料を抑制するため導入された55歳以上の部長職と課長職の給料が一律に1.5%引き下げられていることが原因と考えられる。

飲料水は生活に欠かせないものだ、不安を感じている地区はないのか



小川 栄一

答 水量と不純物が混じる不安を抱いている地区がある

問 自宅の蛇口から出る水が安全なのか、日々頭にあることだ。現状は。
答 上水道・簡易水道への不安・苦情はない。井戸水では、黒木の豊岡地区から水量が減り水質も悪くなっている。どうにかして欲しいとの要望が上がってきている。

問 それに対する策は。
答 平成24年度から、飲料水改善事業として、浄水器設置に5割、上限20万円の補助をしている。
問 設置後のメンテナンスが大変だ。それも含めた補助という方向にはならないのか。
答 検討はしたが財政的に現時点で無理である。県南広域水道企業団が、小石原川ダムから取水できるようになる平成31年までは現状で行くしかない。
問 こういう問題は地域から上がってくるのを待つのではなく、行政から積極的に声をかけして進めてほしい。金がかかる訳ではない。
答 今の体制でも十分できると思うが、



問 少子化の歯止めとして保育料を第一子から無料または、半額にしていく考えはあるのか。
答 経済的な支援も、子育て中の家族への支援も、どの程度できるのか十分検討していきたい。

問 地域でつくり、地域をつくる福祉をどのように進めていくのか。
答 観光の分野としては魅力ある食の提供等で



三角 真弓

答 今後5カ年の市政の重点課題として総合的に推進する
合併5周年を迎えて少子・高齢化と人口減少問題にどう取り組むのか

問 地域福祉活動計画を実施するために、社会福祉協議会、地域住民などが連携し地域全体で支える仕組みづくりを進める。
問 地方の自主性を尊重し、潜在的な力を引き出す地域経済の活性化をどのように進めていくのか。
答 観光の分野としては魅力ある食の提供等で
問 女性と若者が輝く社会をどう構築していくか。
答 女性と若者が輝く社会をどう構築していくか。日本は男女格差の指数は世界136カ国中105位である。
仕事と生活の調和を推進することにより少子化への歯止めともなる。企業との連携を図ってほしい。若者の就労窓口を行政に。
答 十分に検討する。

人口減少対策推進本部のメンバー構成はどのようになっているのか



萩尾 洋

答 副市長を本部長とした推進本部と、若手職員による専門部会で構成



問 効果的かつ有効な方策は考案できたのか。
答 本部では、人口対策の目線で現行施策の検証を行い、その上で新しい施策、効果の高い施策を再構築し、平成27年度予算及び第4次八女市総合計画後期基本計画など、関連諸計画に反映を図る作業を進めている。
問 入庁2年目の若手職員で構成する専門部会の活動状況は。
答 若手17名を3班に編成、独自の課題を設定し、現在まで8回程度各班で会議を実施。若い人が自由奔放な意見を出している。議論の集約については、年明けに市長へのプレゼンを予定している。

問 徘徊老人（認知症高齢者）対策について
答 本市のSOSネットワークシステム事業の詳細は、

問 本市のSOSネットワークシステム事業の
答 八女市認知症高齢者等SOSネットワークシステム事業で、平成20年9月から開始している。徘徊のおそれがある高齢者の様々な情報を家族と本人の同意を得て、事前に登録していただき、もし行方不明になられた場合は157の協力事業所にアクセスし早期に見つけるシステムである。また、福岡県南部9市3町とも広域の協定を結んでいる。



朽網 英文

問 市民にどのように情報伝達していくのか。
答 現在の進捗状況は、9月に市議会全員協議会に、同月下旬に行政区長会に説明している。
問 市民に公表すると約束されているが。
答 公表の仕方については、処分の方向性が決まった施設については広報などで周知する。
問 各施設の市民の要望、意見などはどう考えているのか。
答 いろいろな意見、要望なども十分聴きながら集約している。
問 公共施設の活用については全国で成功例もた

公有財産活用検討委員会について

答 適正な公共施設の配置、利用状況、管理運営を考える

問 公立八女総合病院企業団の現状について。
答 外来、入院患者数減については、医師の確保が最重要課題と考えている。



中核的医療機関である公立八女総合病院

子供の目線で考え、学校、家庭、地域の協力で校区里親制度の導入を



中島 信二

答 児童福祉法との関連もあり、市長部局と協議を重ねたい

問 現在、学校において

いかに、**地域一体の教育行政を** コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の導入は考えられないか。

答 平成18年の教育基本法改正により生涯学習に含まれ、本市においては男女共同参画・生涯学習課の市長部局に移行した。

問 ショートステイとか夜間預りとか短期事業メニューがあり、その中で十分検討をしていきたい。

答 福岡市がNPO法人により校区里親制度をモデル事業として行っている。八女市においてはファミリーサポートセンターにてショートステイとか夜間預りとか短期事業メニューがあり、その中で十分検討をしていきたい。

問 保護者が数ヶ月から一年以内で家を空ける場合、校区内で子供を預かれないか。

答 福岡市がNPO法人により校区里親制度をモデル事業として行っている。八女市においてはファミリーサポートセンターにてショートステイとか夜間預りとか短期事業メニューがあり、その中で十分検討をしていきたい。

新しい絆を求めて



問 保護者や地域の方々との連携は十分なされており、既に制度化された学校評議員制度、学校関係者評議会制度を活用して信頼される学校づくりを進めていけると考えているが、制度導入も検討する必要があると思う。

答 社会教育の事業内容と位置づけについて、特に社会教育という名目から消えているが、

問 平成18年の教育基本法改正により生涯学習に含まれ、本市においては男女共同参画・生涯学習課の市長部局に移行した。

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について



市道下横山東西線整備計画



橋爪 房義

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

答

幹線県市道の整備等国県への要望活動をさらに進める

今及び将来に向かって市政が見える発展的な地域創生のまちづくりを

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

問 東部中山間地域の幹線道路懸案箇所の整備を

答 ①県道八女香春線の国道昇格は、長年の懸案であり、沿線の自治体と連携し、しっかりと取組む。②数年来、中断している市道下横山東西線の県道陝代行事業の再開について

障害者基本法第4条に基づき、雇用促進住宅にエレベータ設置を



樋 口 安 癸 次

答 技術面、設置費用及び維持・管理の面で研究する



雇用促進住宅「八女(蒲原)宿舎」

問 矢原河川敷広場はどのようになっていくか。

答 九州北部豪雨で被害を受け、機能を失ったが、排水処理を行っていく。道運動広場としての機能が果たせるよう整備を進めていく。

問 県道玉名八女線と船小屋八女線のバイパスについて

答 本年度において光地区の側溝の整備が行われている。

問 鞍懸町内の4メートル整備はどうなっている

答 両県に要望活動を行っている。

答 道路維持工事としての路面改修、側溝などの排水処理を行っていく。道路拡幅については、地元行政の意見を聞いて進めていく。

問 トンネル整備はどうなっているのか。

答 玉名八女線道路整備促進期成会で本年度に国土交通省への要望活動を行い、さらに福岡、熊本



服 部 良 一



グリーンフィールド八女

グリーンフィールド八女へ
オリンピックキャンプ誘致
の検討を

答

オリンピック・パラリンピックは、この上ない機会

心を芽生えさせる事業を取り組むべきでは。

答 各保育所は保育指導計画の中に郷土愛事業を実施されており、今後もさらに検討を進めたい。

問 教育委員会としての郷土愛事業は。

答 八女ふる里学を作成中であり、里を愛し誇りを持つ子どもたちを育てることに力を入れている。

南仙橋復元について

問 河川法が大きな壁で復元がきびしいが、地方創生として観光の遊歩橋の可能性は。

答 復元は難しい。

問 福岡市は決まったと聞くが八女市の取り組みは。

答 26年12月中に連絡会議が予定されており、年明けに国からキャンプ誘致のガイドラインが示される。

問 グリーンフィールド八女は現在照明が無くシャワールームも少ない

答 子育て支援事業に幼児園児にふる里を愛する

答 が、これで万全なのか。ガイドラインが示された後、調査を行い、どんな整備が必要なのかそれに対応していく。

問 子育て支援事業に幼児園児にふる里を愛する

答 子育て支援事業に幼児園児にふる里を愛する

問 子育て支援事業に幼児園児にふる里を愛する

過疎化対策についての取り組みは



石橋 義博

答 各種施策を積極的に取り組んでいく

- 問** 過疎化対策について効果的と思われる目玉対策を考えているのか。
- 答** 八女市過疎地域自立促進計画に基づき、過疎対策事業の取り組みを推進している。また、交流人口の拡大や地元農林産材などを初めとする地域産材を生かした地域経済の活性化を図り、雇用の確保や通勤、通学条件の整備、企業誘致の推進など、より効果的な過疎対策事業を進めて生きたい。
- 問** 雇用や所得の低さが過疎につながっていないか。
- 答** 農林業、建設業、都市計画など、地方創生の中でどのような取り組みをするのか、課題も踏まえながらよい企画を国へ提案していきたい。
- 問** 婚活のサポートも重要ではないか。
- 答** テレビ番組の「ナイナイのお見合い大作戦」を八女市で開催することになり、非常に期待している。
- 問** 企業誘致はどうなっているのか。
- 答** まず農地制度の改革を求め、それを持つだけでなく道路整備などを進め、今後企業誘致に向けて頑張りたい。



パーク・アンド・ライド

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書 (要旨)

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる医療が、B型・C型肝炎ウイルスの減少を目的とした抗ウイルス療法であるインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されており、医療費助成の対象から外れているウイルス性肝硬変・肝がん患者は高額の医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

また、肝硬変を中心とする肝疾患も身体障害者福祉法上の障害認定(障害者手帳)の対象とされているものの、医学上の認定基準がきわめて厳しいため、現在の制度は、肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していないとの指摘がなされているところである。

他方、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法の制定時(平成23年12月)には、「とりわけ肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費助成を含む支援の在り方について検討を進めること」との附帯決議がなされた。しかし、国においては、ウイルス性肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。

よって、本議会は、下記事項を実現するよう強く要望する。

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成26年12月19日

福岡県八女市議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣